

明石工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	ドイツ語-1	
科目基礎情報							
科目番号		5410		科目区分	一般 / 選択		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		都市システム工学科		対象学年	4		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材		わかるぞドイツ語！見えるぞドイツ語！ WEB改訂版 春日正男、松澤淳、ボルフガング・シュレヒト （朝日出版社）					
担当教員		横田 一哉					
到達目標							
・ドイツ語の文構造や、規則を確実に把握し、辞書を用いれば、中級程度のドイツ語を読みこなすことができるようになることを目標とします。 ・対話形式の練習で身につけたことを生かし、自分の身の回りの事柄を、簡単なドイツ語で表現できるようになることを目標とします。 ・ドイツの社会事情に関する読み物を読むことにより、ドイツ人のものの考え方や、生活習慣などについての理解を深めることを目標とします。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		ドイツ語の文構造や、規則を確実に把握し、辞書を用いれば、中級程度のドイツ語を読みこなすことができる。		ドイツ語の文構造や、規則を確実に把握し、辞書を用いれば、中級程度のドイツ語を読みこなすことができる程度できる。		ドイツ語の文構造や、規則を確実に把握できず、辞書を用いても、中級程度のドイツ語を読みこなすことができない。	
評価項目2		対話形式の練習で身につけたことを生かし、自分の身の回りの事柄を、ドイツ語で表現できる。		身につけたことを生かし、自分の身の回りの事柄を、簡単なドイツ語で表現できる。		自分の身の回りの事柄を、簡単なドイツ語で表現できない。	
評価項目3		ドイツの社会事情に関する読み物を読むことにより、ドイツ人のものの考え方や、生活習慣などについての理解を深めることができる。		ドイツの社会事情に関する読み物を読むことにより、ドイツ人のものの考え方や、生活習慣などについての理解を深めることができる程度できる。		ドイツの社会事情に関する読み物を読むことにより、ドイツ人のものの考え方や、生活習慣などについての理解を深めることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		この授業では、前期の内容を継続し、ドイツ語の基礎文法を学び、ドイツ語の読む、書く、聞く、話すといった総合的な力を、バランスよく身につけることを主な目的とします。文法事項を学ぶ際には、実用的な、生きたドイツ語が身につくように、それぞれの課で学ぶ文法事項を用いた、対話形式の練習を多く取り入れていきます。また、ドイツの社会事情について書かれた読み物を読みながら、ドイツ語の読解力を向上させ、ドイツという国についての知識も豊富になるようにしていきます。					
授業の進め方・方法		講義に加え、対話形式の練習を多く取り入れることと、講読を通して読解力を向上させます。 連絡員：穂本浩美					
注意点		（１）最初の授業の時に、いくつか辞書を紹介するので、その中から、自分が使いやすいと思う辞書を買って、必ず毎回授業に持ってくること。（２）与えられた課題にはしっかり取り組むこと。 評価の対象としない欠席条件(割合) 1/4以上の欠課					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Lektion5		文法・人称代名詞について理解できる。		
		2週	Lektion5		文法・前置詞について理解できる。		
		3週	Lektion6		読み物・ドイツのパン屋について理解できる。		
		4週	Lektion6		文法・話法の助動詞と未来形について理解できる。		
		5週	Lektion6		文法・従属の接続詞について理解できる。		
		6週	Lektion7		読み物・ドイツの旅行事情について理解できる。		
		7週	Lektion7		文法・分離動詞について理解できる。		
		8週	Lektion7		文法・再帰動詞について理解できる。		
	2ndQ	9週	Lektion8		読み物・ミュンヘンについて理解できる。		
		10週	Lektion8		文法・形容詞の格変化について理解できる。		
		11週	Lektion9		読み物・ミュンヘンのオクトーバーフェストについて理解できる。		
		12週	Lektion9		文法・動詞の三基本形と過去形について理解できる。		
		13週	Lektion10		読み物・ドイツのサッカー事情について理解できる。		
		14週	Lektion10		文法・完了形について理解できる。		
		15週	復習		後期で行ってきたことの復習		
		16週	期末試験		これまで学習した事柄を理解できる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。		3	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。		3	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。		3	

				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	3	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	3	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				合意形成のために会話を成立させることができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				グループワーク、ワークショップ等による課題解決への論理的・合理的な思考方法としてブレインストーミングやKJ法、PCM法等の発想法、計画立案手法など任意の方法を用いることができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	小テスト	合計
総合評価割合	50	0	0	30	0	20	100
基礎的能力	50	0	0	30	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0